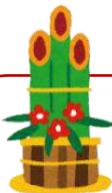


# KTK いづみ福祉会を 守る会だより

## 2025年度 冬号 NO.84



☆児童ディサービス☆  
「交通」活動～京都水族館へ！



### 新年ご挨拶

社会福祉法人 いづみ福祉会  
理事長 須河 浩一

明けましておめでとうございます。

皆様には日頃から格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年6月、理事会において、坂本利正前理事長から理事長の役割を引き継ぎました須河浩一です。

いづみ福祉会は、1987年11月に発足した「相楽東部共同作業所を作る会」とその翌年に開所した「無認可小規模作業所いづみ共同作業所」を母体として、2002年4月に社会福祉法人として活動を開始しました。1988年当時、ご利用者は7名。職員は私と三船施設長（現在、理事兼サービスセンター／グループホーム施設長）の2人。年間予算200万円という小規模中の小規模としてのスタートでした。

「作る会」から数えると2026年は39年目にあたります。この間、ご利用者数は延べ500人以上になりました。職員数は120名。予算は約4億円。設立当時の200倍です。

しかし、その「量的」な増加に比例して、障害

のある方々の生活の質が200倍よくなり、心配事が200分の1になっていません。職員待遇や職場環境もまだまだ十分ではありません。

当事者の生活の「質」を問い合わせたとき、また福祉労働にかかる職員の待遇を考えると、まだまだやらなければならないことが山積しています。

ここで、私たちがこの間、何に取り組んでこれなかったか…これからだれがどのようなことをやらなければならないか…に触ることはできませんが、キーワードの一つは、いづみ福祉会の各事業所間やこの圏域の様々な事業所（障害福祉事業所だけではありません。行政・介護・社協・教育・保育・保健・医療…対人支援に関わるすべての機関）や障害者問題に関心のある方々とのつながりを深めることです。

これからも、いづみ福祉会のみならず、対人支援に関わる全ての事業所・機関へのご支援をお願い申し上げ、新年のご挨拶といたします。



# 2025年度 人権擁護研修を開催しました



去る11月29日(土)に法人全体で各事業所から58名の職員が集まり、人権擁護研修を開催しました。今回は、ご利用者の人権を守るために、職員間での人権尊重について考える機会として、「ハラスメント研修」を目的に開催しました。講演を聞いたあとはグループに分かれて、職場で取り組めることについて意見を出しあいました。北條先生のとてもわかりやすい説明で、ひとごとではなく「自分の問題」としてそれぞれが考えることのできるよい研修となりました。(土井)

『支えあう職場を、守りあう職場へ』～よりよく働くための関係づくり～

京都働き方改革推進支援センター 社会保険労務士 北條 浩 先生



## 【講義内容】

### 1. ハラスメントの正しい理解

まずはハラスメントの定義と類型を正しく知り、共通認識を持ちましょう。

### 2. 職場でのハラスメントとその背景

福祉現場特有のリスクや、ハラスメントが起きる実態と背景を確認しましょう。

### 3. 実際の対応のポイント

「防止策」と「万が一発生した際の対応」について、具体的なポイントを整理します。



## 【講義テーマ】

“よりよく働くための関係づくり”という視点に立って、ハラスメントについて学ぶ。「ハラスメント」は特別な問題ではないことの理解。

### <福祉の現場特有の問題>

ご利用者に対しては、「やさしさ」+「支援技術(スキル)」で接するのに、職員間では「支援技術」が發揮されにくい構造になっているのではないか?

…他人事ではなく、自分事として、各自が考えることで、働きやすい職場につながることを理解する。



## ミニワーク

### これはハラスメント？

事例 1: 「同僚に “君は若いから体力あるでしょ” と言って、重い荷物を運ばせた。」

事例 2: 「後輩の服装に “その服似合ってるね” と言う。」

事例 3: 「忙しくて余裕がないとき、つい不機嫌な態度になってしまった。」

…これは、すべてグレーゾーン。

大切なのは「相手の受け止め方」と「職場の雰囲気」。

同じ言葉でも“関係性”によって意味が変わる、という点を押さえておく必要がある。



## グループワークのテーマ

- (1) 自分が起こす可能性のあるハラスメントとは? … 自分のこととして考える
- (2) その防止策として、できること、必要なことは? … 職場をよくするアイデア



9グループに分かれて、意見交換をしました。

…どのグループも活発な意見がたくさん出ていました。



毎回、グループはいろいろな事業所の職員が混ざり、事業所を超えて、意見交換ができる機会としています。

## グループワークで出た意見

- やっぱり挨拶が大事!
- ご利用者の支援への考え方の違いなどがあつて当たり前、コミュニケーションをとることが大事。
- 時間がない時や、やることが多くなると、まわりの人に気をつかえていない時があるかもしれない。機嫌が悪いと思われているかも…。
- 少数派になると居心地が悪いと感じることが、誰にでもあるのではないか。(男性・女性、新人・ベテラン、事業所の違いなど…)
- 家庭でのストレスが、職場での態度に影響しないように気をつける必要がある。
- 支援がうまくいかないときに、どうしても一人で抱え込んで悩んでしまう。態度に出てしまう可能性もあるので、まわりに相談する必要があると感じた。(相談しないことで、迷惑をかける可能性がある。)
- 世代間の考え方の違いはお互いにある。違うことがわるいことではなく、コミュニケーションで補うようにしていきたい。
- 自分自身の立場や役職を自分はあまり気にしていないが、相手は気にしている可能性があることが考える必要がある。



最後に… それぞれの職員のまとめとして、「ひとこと感想」を各自記入。

- 自分も加害者になる可能性があると学べた。
- この研修を全体でできるのはいい職場だと思った。
- 職員間の関係づくりが重要だと改めて感じた。
- グレーゾーンの関わりを悪気なくやつてしまっていたかも…。
- まずは挨拶からいねいに!
- ストレスをためないようにすることも大切。
- 日頃からの関係づくりが重要。
- 時代は変わってきていると感じた。



- 個人の問題ではなく、職場の環境の問題と捉えることで、全体で取り組むことができると感じた。

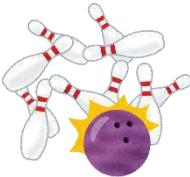
- 職員同士での伝え方を意識しておられる方が多く、自分がだけが悩んでいるのではないと知ることができた。
- 自分の価値観や経験で判断するのではなく、相手の話をしっかりと聞くことを心掛けたい。
- 自分の行動を振り返ることを習慣化していきたい。
- 日頃関わりのない職員さんと話せてよかったです。



最後は、グループで話し合った内容を全体で発表し、全体で共有しました。



## 地域活動支援センターからの報告… 秋の外出行事 ボウリング



11月14日に奈良のミナーラにあるラウンドワンへボウリングに行ってきました。ボウリングは十数年ぶりの方がほとんどでしたが、それぞれのペースで楽しまれていました。ボウリング後はレストランで食事を楽しみました。

今回の外出行事は、現地集合・現地解散で、ボウリングのゲーム数も自分の体調に合わせて決め、ボウリングには参加せずに見学や食事だけでもOK…と、参加されるメンバーさんのそれぞれの希望に合わせたプランで参加ができる外出行事となりました。

参加された皆様からは「柔軟性のあるプログラムで参加しやすかった」「ボウリングは慣れていないと難しい。食事は美味しかった。」などのお声をいただきました。引き続き多くの皆様に参加していただけるようなプログラムをメンバーさんと一緒に決めていけたらと思います。

地活いづみでは行事や普段の活動について、インスタグラムにアップしています。もしよければ、フォローよろしくお願ひします。 (山口)



～山城南圏域障害者自立支援協議会 主催～

## 山城みなみフェスティバル 2025 に参加しました！



去る11月7日に、木津川市中央交流会館で「山城みなみフェスティバル 2025」が開催されました。第2回になる今年はワーキングセンターいづみを含め8事業所が参加し、会場はにぎやかなフェスのような空気に包まれました。

プロのミュージシャンによる生演奏に合わせて、手を振ったり歌ったり、時には立ち上がって体を動かす姿も見られ、ご利用者さんも職員さんも一緒にになって大いに盛り上りました。

ワーキングセンターからはスタッフを含め約20名が参加し、それぞれが自分のペースで音楽や雰囲気を楽しんでおられました。

参加事業所同士の交流も生まれ、笑顔が絶えない一日となりました。地域のつながりを感じられる、あたたかくも活気あふれる行事になりました。(田中)



### 参加したご利用者にインタビュー

- 中島みゆきの「糸」をみんなの前で歌うことができて良かったです。人も多くて楽しかったです。
- にぎやかで楽しかったです。参加してよかったです。





**ワーキングセンター つながり班**

## 創作活動を楽しんで！ ワーキングセンターを飾り付け！

今年度、つながり班では創作活動を行っています。1年間を通じて毎月季節にあった作品をつながり班のメンバーで制作しています。作品を通して、ワーキングセンターのみなさんや来所者の方々とうれしい気持ち・たのしい気持ちを分かち合うことができるよう、1階と2階に1つずつ創作作品を飾っています。作品を掲示することで、ワーキングセンター全体を盛り上げられるように…明るく楽しい作品を意識して、制作しています。

創作活動の感想をご利用者に聞いてみると…

「ハサちゃん（ハサミ）を使って星とか月を切って貼るのが楽しいねん。」「みんなで協力し合って作品のり付けしたりするのが大好きやねん！」とのこと。

今後もワーキングセンターを盛り上げたい！という思いで、作品作りを楽しみつつ、素敵な作品を飾っていきますので、来所の際はぜひご覧いただけるとうれしいです。（囁）



12月の作品







### インフォメーション

### ワーキングセンター より…

#### クラフト班

##### ◆ イベント 『奈良町物語館 販売会』



★ 草木染のショールや手織りのかばんなど…  
やさしい色合いの商品がそろっています。

◇ 時期 3月18日（水）～3月23日（月）

◇ 時間 [平 日] 11時～16時  
[土日祝] 10時～17時

◇ 場所 奈良町物語館

開催の日程については、随時、こちらの  
インスタグラムで紹介中！

クラフト班・インスタグラム  
イベント、販売告知、販売会に  
向けての 作製中の様子などを  
投稿しています。  
皆様のフォローといいね！を  
お待ちしています。



#### パン班

##### フルーヴ (ワーキングセンターいづみ内店舗)

〔営業日〕 水・木・金

〔営業時間〕 11:30～15:30

##### 木津川市役所 (パン販売)

〔販売日〕 金 (第1・3・5週)  
11:45頃～



##### 木津総合庁舎 (パン販売)

〔販売日〕 金 (第2・4週)  
11:45頃～  
(祝日はおやすみさせていただきます)



パン班・インスタグラム  
フォローをお願いします！



QRコードでも読み込んでいただけます！



# 会費納入ありがとうございました！！



2025年度の会費納入をお願いします。同封の振込用紙をご利用ください。

個人会費は一口1,000円、団体（法人）会費は一口3,000円です。

会費納入をいただいた方々です。（敬称略、順不同）

（2025年10月16日～2025年12月8日受付分）

生水 淳穎	石丸 笑	江草 正雄	江草 朋子	大倉 博	北川 昭博	井上 テルノ
北口 隆吾	國本 素子	須河 大市	杉若 良子	炭本 武	関 晶予	大石 賀都子
土居 永法	中井 薫	西村 正子	姫野 忠之	福井 清子	福家 省造	松井 清明
松岡 佳代	村木 定子	森山 章	柳沼 明美	安見 和代	山内 康司	讓尾 ひとみ
山本 安延	結城 英雄	吉本 玲子	吉本 恵	大石石材工業(株)		

…会費は法人の窓口に持て来ていただくことも大歓迎です。

\*郵便局からの情報到着までに時間差があり、掲載できていない方がおられる可能性があります。申し訳ありません。

## ご寄付ありがとうございました。

いづみ福祉会および守る会に多くの方々からご寄付をいただきました。ありがとうございます。

（2025年10月16日～2025年12月8日受付分）

お名前を紹介し、お礼に代えさせて頂きます。（順不同）

今西 邦雄 様	大倉 博 様	北森 恵子 様	香山 美由紀 様
小林 文代 様	馬場 久代 様	柳原 重治 様	
木津東部民生児童委員協議会 様	木津川市更生保護女性会 様	コーカ共同製茶 様	
(農)グリーンティー高尾 様	田山南部共同製茶組合 様	古谷書店 様	

現金、お湯のみ、お皿、文具(カッター、マジック、色画用紙、ファイル等)  
クッション、ひざ掛け、雑巾、お茶、柿、お味噌

ご寄付いただいたものは、有効に活用させていただいております。厚くお礼申し上げます。

ご家庭に不用な 陶器のお湯のみ、CDラジカセ、加湿器、トランポリン、タオル、雑巾  
がありましたら、よろしくお願ひします。

※衣類・お皿につきましては、たくさんのご支援をいただき、受付を終了させていただきます。

前号の表紙にて「ほこほこマルシェ」について『詳細は4ページでご紹介！』と記載しておりましたが、  
紙面の関係上、掲載を見送ることとなり、修正が不十分な状態となりました。お詫び申し上げます。

## 編集 いづみ福祉会を守る会

連絡先 社会福祉法人 いづみ福祉会 内

〒619-1143

京都府木津川市加茂町觀音寺石部8番地

TEL:0774-66-4114 FAX:0774-76-0070

URL:<https://www.idumi-fukushikai.or.jp>

« 編集委員 »

いづみ家族会:森本

法人職員:丸岡伸、谷口、三好、深田、土井

1992年6月5日第三種郵便物認可(毎月1回25日発行)  
2026年1月6日発行 KTK増刊通巻第5658号

発行人

京都障害者団体定期刊行物協会  
〒604-8804 京都市中京区壬生坊城町48-6

頒価100円 会員の購読料は、会費に含まれています。  
075-822-2691  
48-6

京都社会福祉会館2F

京都難病連内

6